

2022年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

2021年10月28日(木)

【名証2部】 証券コード:6111

 旭精機工業株式会社

売上高は旺盛なプレス機械への需要や精密金属加工品への需要回復に適切に対応した結果、前年同期比+ 32.7%の58億3千5百万円となりました。

()は前年同期比

精密金属加工品: 21億7千2百万円 (+ 48.9%)

✓ 自動車関連部品を中心に売上が回復し、増加

小口径銃弾: 8億6千5百万円 (▲ 31.3%)

✓ 政府の予算執行を受け、減少

プレス機械: 22億4千5百万円 (+ 112.7%)

✓ 車載用リチウムイオン電池缶製造用プレス的大幅な受注増により、増加

ばね機械: 2億1千8百万円 (+ 35.8%)

✓ 自動車関連向けを中心に増加

自動機・専用機: 2億1千6百万円 (▲ 3.2%)

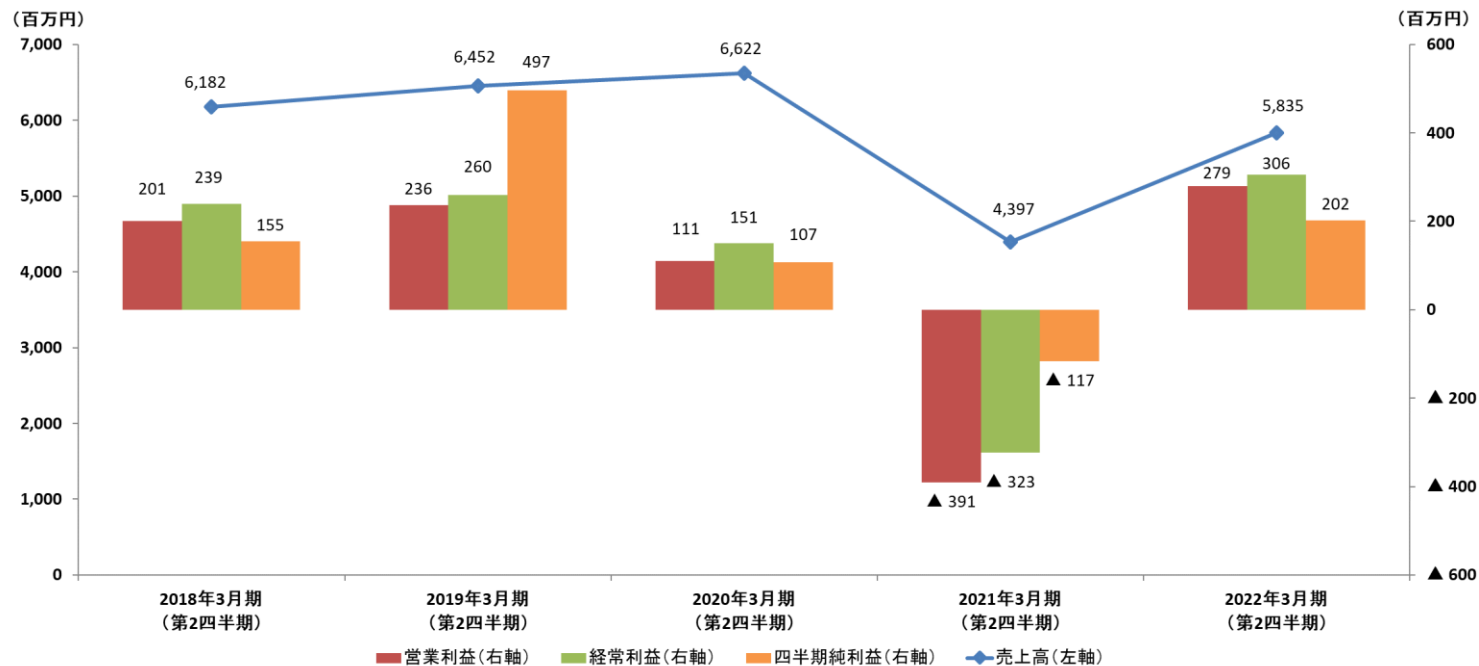
✓ 顧客からの受注は回復傾向にあるものの、出荷に至らず減少

航空機部品: 1億4百万円 (▲ 53.8%)

✓ 旅客機の減産の影響を受け、減少

第2四半期の売上高・利益推移

(単位:百万円)	2018年3月期 (第2四半期)	2019年3月期 (第2四半期)	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)	2022年3月期 (第2四半期)
売上高	6,182	6,452	6,622	4,397	5,835
営業利益	201	236	111	▲ 391	279
経常利益	239	260	151	▲ 323	306
四半期純利益	155	497	107	▲ 117	202

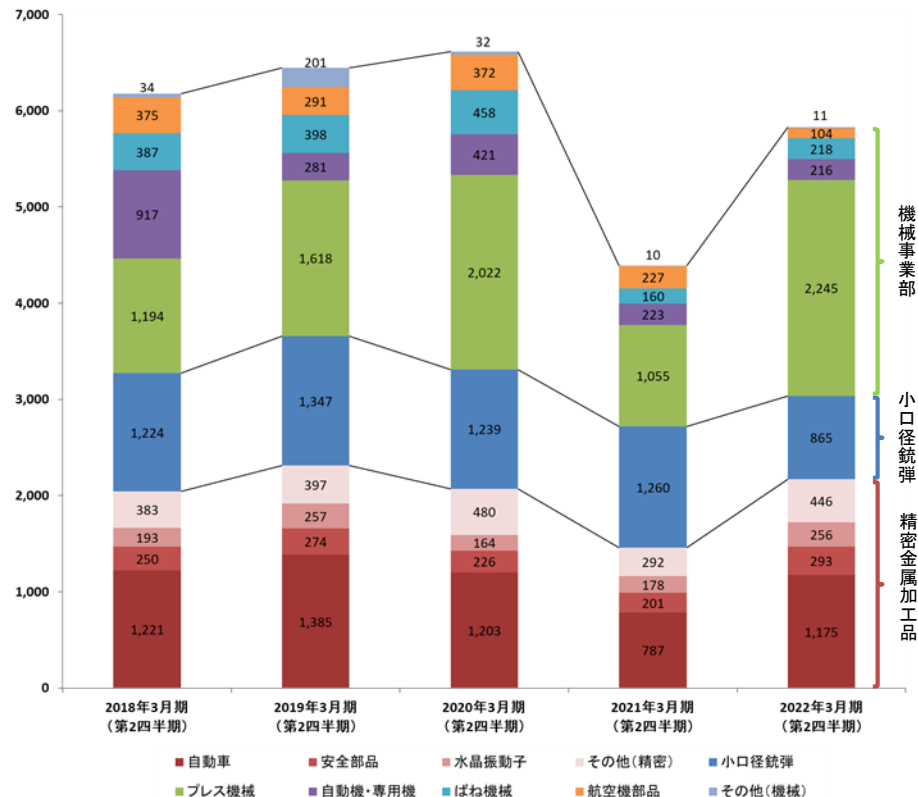


第2四半期のセグメント別売上高推移

(単位:百万円)

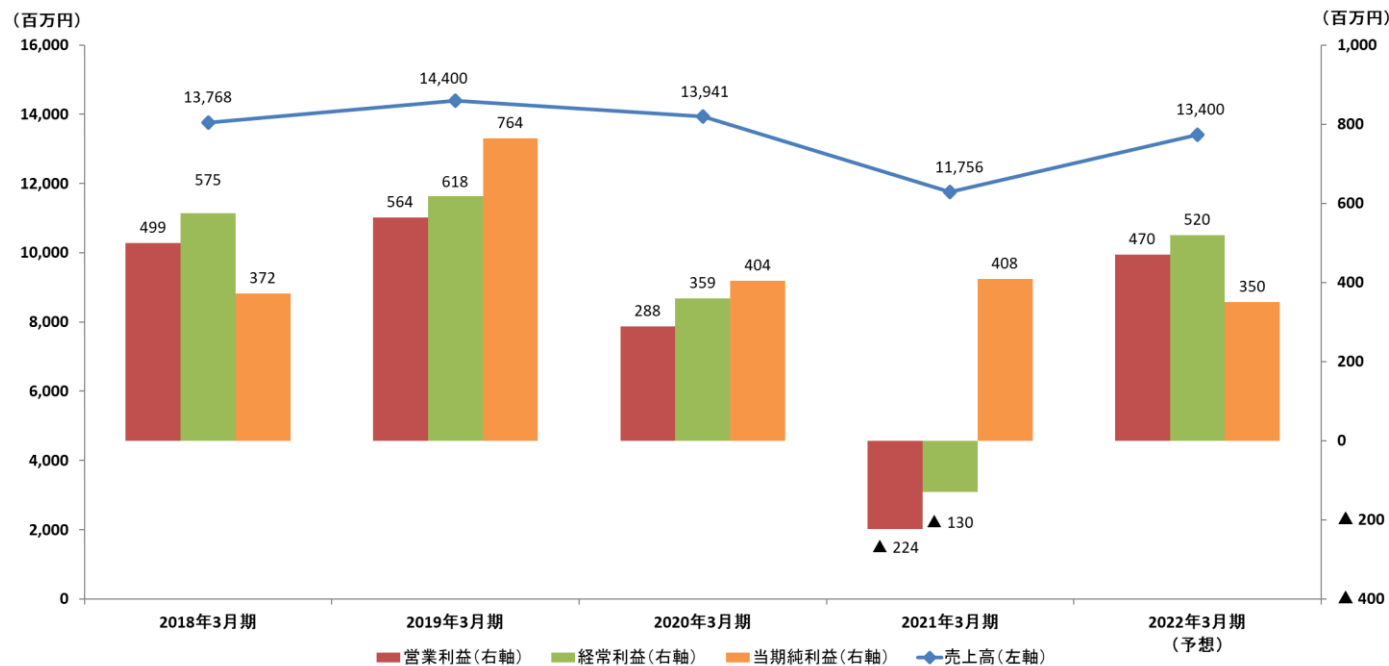
	2018年3月期 (第2四半期)	2019年3月期 (第2四半期)	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)	2022年3月期 (第2四半期)	前年比
精密加工事業部	3,272	3,661	3,314	2,719	3,038	111.7%
精密金属加工品	2,048	2,314	2,074	1,459	2,172	48.9%
自動車	1,221	1,385	1,203	787	1,175	49.4%
安全部品	250	274	226	201	293	45.7%
水晶振動子	193	257	164	178	256	44.1%
その他(精密)	383	397	480	292	446	52.6%
小口径銃弾	1,224	1,347	1,239	1,260	865	▲ 31.3%
機械事業部	2,910	2,790	3,308	1,677	2,797	66.8%
プレス機械	1,194	1,618	2,022	1,055	2,245	112.7%
自動機・専用機	917	281	421	223	216	▲ 3.2%
ばね機械	387	398	458	160	218	35.8%
航空機部品	375	291	372	227	104	▲ 53.8%
その他(機械)	34	201	32	10	11	18.4%
合計	6,182	6,452	6,622	4,397	5,835	32.7%

(百万円)



通期の売上高・利益推移及び予想

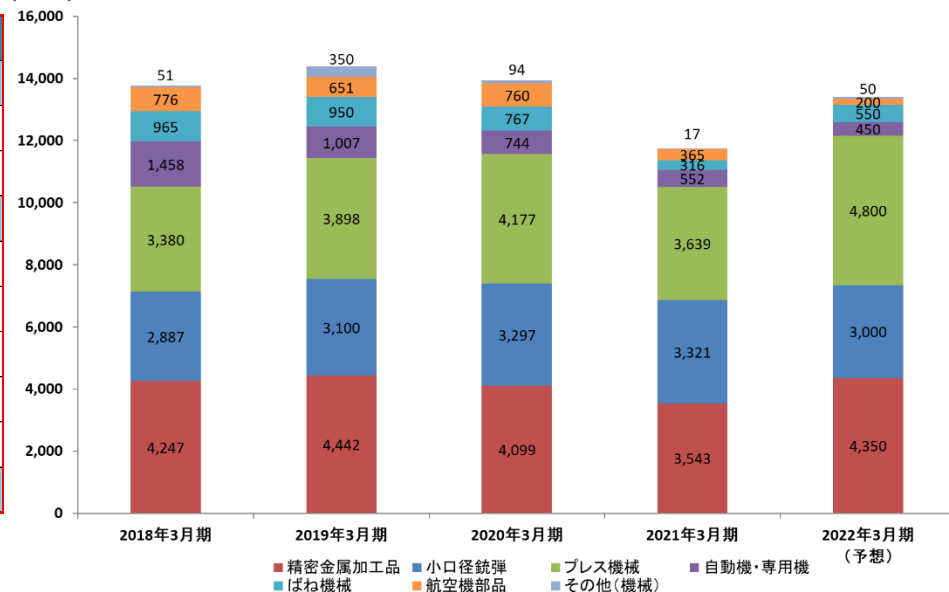
(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
売上高	13,768	14,400	13,941	11,756	13,400
営業利益	499	564	288	▲ 224	470
経常利益	575	618	359	▲ 130	520
当期純利益	372	764	404	408	350
1株当たり 当期純利益	130円82銭	308円38銭	167円73銭	169円71銭	145円27銭



通期のセグメント別売上高推移及び予想

(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)	前年比
精密加工事業部	7,135	7,542	7,397	6,865	7,350	7.1%
精密金属加工品	4,247	4,442	4,099	3,543	4,350	22.8%
小口径銃弾	2,887	3,100	3,297	3,321	3,000	▲ 9.7%
機械事業部	6,633	6,857	6,544	4,891	6,050	23.7%
プレス機械	3,380	3,898	4,177	3,639	4,800	31.9%
自動機・専用機	1,458	1,007	744	552	450	▲ 18.5%
ばね機械	965	950	767	316	550	74.1%
航空機部品	776	651	760	365	200	▲ 45.2%
その他(機械)	51	350	94	17	50	194.1%
合計	13,768	14,400	13,941	11,756	13,400	14.0%

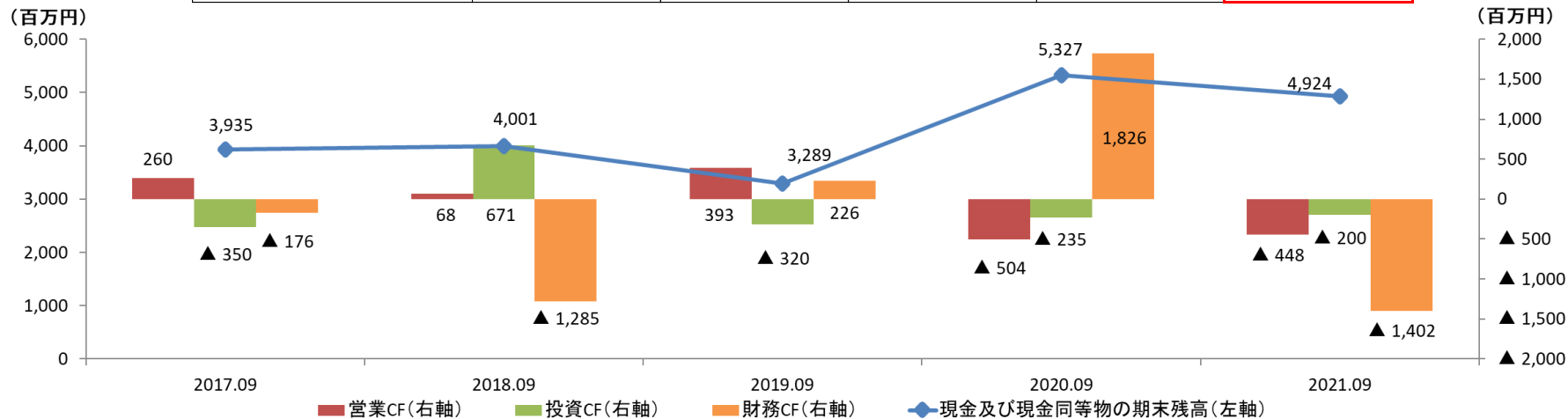
(百万円)



第2四半期のキャッシュ・フロー推移

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	260	68	393	▲ 504	▲ 448
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 350	671	▲ 320	▲ 235	▲ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 176	▲ 1,285	226	1,826	▲ 1,402
現金及び現金同等物の期末残高	3,935	4,001	3,289	5,327	4,924



キャッシュフロー状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は49億2千4百万円 前期末比 20億5千1百万円減少

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前期末より主に、売上債権の減少により3億5千3百万円及び減価償却費で3億7千5百万円増加したものの、棚卸資産が7億7百万円増加したこと及び法人税等の支払いで2億7百万円支出。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前期末より主に、有形固定資産の取得により1億9千万円支出。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

- ✓ 前期末より主に、短期借入金の返済で12億3千万円及び配当金で1億6千8百万円支出。

財政状態の推移

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (第2四半期)
総資産	20,581	19,031	18,502	20,599	18,898
純資産	14,280	12,924	12,550	12,899	13,074
自己資本比率	69.4%	67.9%	67.8%	62.6%	69.2%
1株当たり純資産	5,022円56銭	5,358円83銭	5,207円56銭	5,353円44銭	5,426円73銭

資産、負債及び純資産の状況

(総資産) : 188億9千8百万円、前期末比▲17億1百万円

✓ 主に、仕掛品が4億4百万円、投資有価証券が1億9千4百万円、製品が1億7千4百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が20億5千1百万円、受取手形及び売掛金が3億8百万円それぞれ減少。

(負債) : 58億2千3百万円、前期末比▲18億7千6百万円

✓ 主に、短期借入金が12億3千万円減少。

(純資産) : 130億7千4百万円、前期末比+1億7千5百万円

✓ 主に、その他有価証券評価差額金が1億4千2百万円増加。

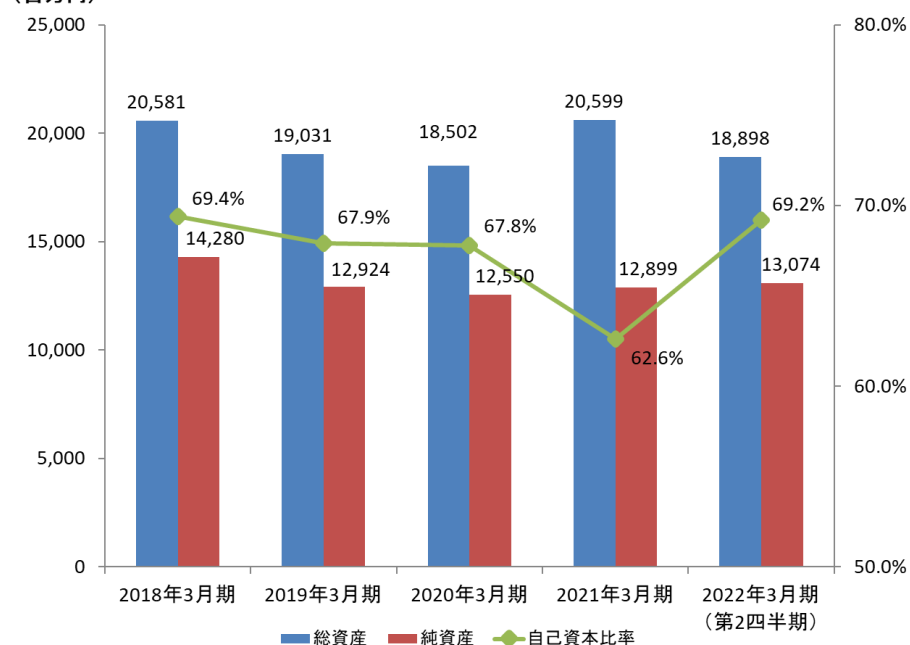
設備投資(工事ベース)・減価償却費の推移及び予想

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
設備投資	655	1,487	995	599	454
減価償却費	723	771	814	818	790

財政状態の推移

(百万円)



Topic 1. 社長交代(2021年4月1日)

神谷真二(前常務)が新たな代表取締役社長に就任しました。
(ご挨拶)

4月1日に、山口 央(現・取締役会長)の後任として、代表取締役社長に就任いたしました神谷 真二でございます。

経営理念であります「確かな物づくりを通して、社会に貢献し、企業のたゆみない発展をめざす。」基本姿勢を忘れることなく、社会課題解決に取り組みながら、お取引先、株主・投資家、社員をはじめとしました全てのステークホルダーの皆様のお役に立てる企業を目指し、これからも不断の努力を続けて参る所存であります。皆様のご支援ご厚情を心からお願い申し上げます。



(神谷新社長)

Topic 2. ばね機内覧会

2021年7月1日～7月3日に本社の第一組立工場において「2021年ばね機内覧会」を開催いたしました。

当日は既存機種と新機種(開発予定機)を織り交ぜた8台・1ユニットを展示し、社員が実際に機械を操作しながら、来場者の方々に機械や製品の説明を行い、高速かつ高精度な製品生産が可能なばね機械について、積極的なPR活動をすることができました。

3日間で200名以上の方にご来場いただきました。

*本内覧会は入場人数を制限し、会場の換気、社員・来場者の検温及びマスク着用、アルコール消毒など、新型コロナウイルス感染症予防に万全を期して行いました。



(展示機)



(社員による説明)

Possibility

Technology opening up new possibilities

旭精機工業株式会社

IRに関するお問い合わせ先
旭精機工業株式会社 経営企画・IR室
TEL:0561-52-5356

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。